学校番号	３０４

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	政治・経済　（東京書籍）						
副教材等	「最新政治・経済資料集 2026」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済に関わる概念や理論を学び、資料集やマスメディアの報道などの具体的な事例と照らし合わせる。各項目について、自分の抱いた疑問点や、最も気になった事項は何か、なぜ気になったのかを明確化し、文章化し、それを他者とシェアリングする。以上の手順を積み重ね、政治・経済の諸課題について、当事者意識を培い、対話する経験を積んでほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

現実社会の諸課題の解決に向けて探究する手がかりとなる概念や理論などを理解し、諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する概念や理論などを活用し，現実社会の複雑な課題を把握し，説明するとともに，社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性・効果・実現可能性などを指標にして、議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い，国民主権を担う公民として，積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	政治・経済の諸課題を捉え考察し，選択・判断する手がかりになる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	政治・経済の現実社会の諸課題の解決に向け，事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、合意形成や社会参画を視野に入れて、構想したことを議論したり、表現したりしている。	政治・経済の知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第１編 第１章 現代日本の政治 １節 民主政治の基本原理 ２節 日本国憲法の基本原理 ３節 日本の政治機構 ４節 現代政治の特質と課題	○民主政治の歴史、社会契約説、権力分立、「法の支配」について。 ○人権保障の歴史的展開、ファシズムの背景，民主政治の課題、各国の政治体制。 ○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論，基本的人権の保障と「新しい人権」、「公共の福祉」，平和主義の意義と日本の安全保障体制。	ａ．民主政治、人権保障と法の支配の歴史，日本国憲法の特徴や改憲議論，基本的人権と「公共の福祉」，平和主義と日本の安全保障などを理解している。資料から，必要な情報を読み取り，まとめている。 ｂ．個人の尊厳と基本的人権の尊重に立脚し「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ｃ．憲法改正に関する議論について主体的に追究している。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表
		○国会の権限や運営，内閣の機能と国会との関係，司法権の独立、裁判のしくみ，地方自治の運営と住民の権利について。 ○政党政治と利益集団，選挙の意義としくみ，選挙をめぐる諸問題，世論形成におけるマスメディアの役割。 ○主権者としてどのように政治参加するか考察する。	ａ．国会・内閣・司法権・裁判のしくみ、地方自治と住民の権利、政党政治と利益集団、選挙をめぐる問題、マスメディアの役割などを理解している。資料から，必要な情報を読み取り，まとめている。 ｂ．各政治機構の改革に着目し，課題を明確にし、主権者として政治参加する意識をもって、解決法について多面的・多角的に考察し，表現している。 ｃ．現代の日本政治についての諸課題を主体的に解決しようとしている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表

2学期	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	○ 経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民所得と経済成長，物価と景気変動について。 ○ 財政のしくみと役割および租税，金融のしくみと機能について。	a．経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民所得と経済成長，物価と景気変動，財政のしくみと役割、租税の意義，金融のしくみと機能などを理解している。諸資料から，必要な情報を収集し，読み取り，まとめている。 b．経済活動と福祉との関連、市場経済の機能と限界，持続可能な財政および租税のあり方，金融を通した経済活動の活性化について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c．日本経済についての諸課題を主体的に解決しようとしている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表
	３節 日本経済の発展と現状 ４節 福祉社会と日本経済の課題	○日本経済の戦後の発展と現状について。 ○公害と環境保全，農業・食料，中小企業，情報化，消費者問題，労働問題，社会保障について。	a．日本経済の戦後の発展、公害と環境保全，農業・食料，中小企業，情報化，消費者問題，労働問題，社会保障について理解している。諸資料から、必要な情報を収集し，読み取り，まとめている。 b．戦後の日本経済の変遷について、また、日本の経済や社会の諸課題の解決に向けて自分に何ができるかについて、多面的・多角的に考察し，表現している c．現代の日本経済について，の諸課題を主体的に解決しようとしている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表
	第3章 現代日本の諸課題	○ 少子高齢社会における社会保障，地域社会の活性化，多様な働き方・生き方の実現，中小企業の意義と課題，日本財政の健全化，持続可能な食料・農業の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて。	a．現代日本の諸課題について理解し、必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b．課題解決に向けて多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c．課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表

3学期	第２編 第１章 現代の 国際政治 １節 国際政治の しくみ ２節　複雑 化する国際 政治と日本	○国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割について。 ○軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について。	ａ．国際社会の変遷，国際法，国連など国際機構，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について理解し、諸資料から，必要な情報を収集し，読み取り、まとめている。 ｂ．国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ｃ．現代の国際政治について，の諸課題を主体的に解決しようとしている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表
	第２章 現代の 国際経済 １節 国民経済と 国際経済 ２節　世界 経済の現状 と課題	○貿易の現状と意義，為替レートの変動，国民経済と国際収支について。 ○国際協調の必要性や国際経済機関の役割について。	ａ．貿易の現状と意義，為替レートの変動，国民経済と国際収支，国際協調や国際経済機関について理解し、諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 ｂ．相互依存が深まる国際経済の特質および国際経済における日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ｃ．現代の国際経済の諸課題を主体的に解決しようとしている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度